

学習院大学史料館所蔵史料目録 第九号

武蔵国秩父郡上名栗村町田家文書(二)

序 文

今回、学習院大学史料館所蔵史料目録第九号として、武蔵国秩父郡上名栗村町田家文書（二）を発行するのはこびとなった。本書には、主として町田家の経営に係る文書のうち近世冊子型文書を収めた。

町田家は、武蔵国上名栗村で代々村名主をつとめた家である。この地域は、江戸時代以来、良質の杉・檜を産出した西川林業の中心地で、町田家は、大規模な山林経営を行ない、また、江戸深川に店をもち、薪炭・材木商としても活発な商業活動を行なった。このため、本文書は山村の構造、林業の生産・流通・販売等近世林業経営に関する日本屈指の貴重な史料となっている。

史料整理・目録作成は、大変な労力と時間を必要とする地道な息の長い仕事である。なお、既刊の目録に収録したほかに多くの未整理文書を残しており、引続き、次号目録作成に向けて、整理に着手している。何卒、今後ともご指導ご鞭撻を賜わりたくお願い申しあげる次第である。

本目録の作成には、主として、斎藤洋一・生田享子・島田典子・須田肇・対馬（浜田）佳代子・長佐古美奈子・沼田（小川）紀子・松島孝人の史料館員があたり、西田かほる・山口和夫氏のご協力を

得た。また、加藤衛弘氏にはひとかたならぬご指導をあおいだ。ここに深く感謝申しあげるものである。

昭和六十三年三月

学習院大学史料館館長

柳 田 節 子

凡 例

- 一 本目録は、昭和四二年五月一〇日に町田雅男氏から学習院大学に寄贈された武蔵国秩父郡上名栗村（現在の埼玉県入間郡名栗村大字上名栗）町田家文書の近世冊子型文書のうち町田家経営関係文書の目録である。
- 一 「文書の分類」 文書は主題分類を施し、各分類ごとに編年することを原則とした。文書内容が複数の分類項目にわたる場合には、主たる主題と思われる分類項目に分類した。
- 一 「文書番号」 一文書に一番号を原則とした。ただし、一括して保存されていたものや、綴られていたもの、数冊に分れているものは枝番号を付した。
- 一 「文書の年代」 表紙あるいは文書末尾箇所に記されたものを採録した。文書の性格上、内容年代を《》にて記した。
- 一 「文書名」 表紙に記されたものを採録した。ただし、表紙のないものや、表紙の書名で内容が不明瞭なものなどは、目録作成者が必要に応じて（ ）で補った。
- 一 「文書の差出人（作成者）・受取人（宛名）」 文書の表紙・裏表紙に記された作成者・宛名、あるいは文書の末尾箇所に記された差出人、受取人を採録した。目録では「A↓B」の場合はAが差出人（作成者）でBが受取人（宛名）ということ。「A」の場合は差出人（作成者）のみ、また「↓B」の場合は受取人（宛名）のみであることを示す。
- 一 「形態」 縦帳（縦と略記）、横帳（横と略記）、状、綴、状態に分け、元の形態が推測できるものについては（ ）を付して表記した。
- 一 虫損・破損は、その状態により、□・□で示した。

目次

J	町田家経営全般	一
K	町田家土地	七
L	町田家小作・店貸	三
M	町田家金融	九
N	山林経営	三
O	材木商売	
	全般	三
	木挽	七
	筏	五
	水揚・仕切	一〇